

2021年度事業計画書

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

1 事業実施の方針

昨年度は地域や民間団体との連携・協働により、多くの成果を上げることができ、本会の理念「子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに」の実現に近づくことができた。

震災から10年を迎えた今年は、本会の理念を振り返り、団体の存在意義を改めて見直し、事業を展開していくことにする。

今年度からは、受益者の対象を渡波中学校区の小学生～高校生を中心に市内の子どもすべてに、遊びと居場所が担保されるために、「すべての子どもの居場所に関する事業」に軸足を置き、『プレーパーク』『フリースクール』の2本柱で事業を展開していくこととする。

《重点目標》

●プレーパークを拠点に地域連携体制の構築

渡波地区と鹿妻地区のプレーパーク事業が、地域活動と連携することで「地域の子どもは地域で見守り育てる」が実現する。そのため、渡波中学区WWI、黄金浜げんき会（自治会）、子ども会や保護者と、イベントの企画実施を通じて、コーディネーター役を務め連携体制を構築する。

●石巻市の不登校児童生徒が安心して暮らすためのネットワーク構築と取り組み

2019年度の石巻市の不登校数は283名と、増加の一途をたどるなか、市内では対応がほとんどないことから、不登校支援に関わる団体や個人、市民や当事者と共にネットワークをつくり、孤立している不登校児童生徒すべてが、心と居場所の安定を図れる環境で過ごすことを目指す。

●宮城県の不登校児童生徒の居場所に関する取り組み

宮城県が、不登校率が全国一位(石巻市も割合は上位)という現状から、県内の不登校支援団体で構成する、多様な学びを共に考える・みやぎネットワーク（通称：みやネット）の一員として活動を行い、民間のフリースクールへの補助金制度、当事者の利用料補助制度に向けて取り組みをおこなう。

《事業》

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

【目的】子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

●プレーパークわたのは（放課後/週末）

【目標】

この3年間で渡波中学校区の子どもにとって居場所の一つとして認知されることを目指す。

子どもが思いきり遊べる環境を整備し続け、多様な大人と関わる機会をつくる。これにより、子どもの

自己受容や他者理解の精神を育む。

「遊び」という間口から、スタッフは子どもと信頼関係を築き、子どもが安心して過ごせる第三の居場所を確立する。

- ・開催予定回数 140回
- ・来所人数 子ども延3,000名（70名増加）、大人1,020名

【事業内容】

- ・開催日時：金 曜 日 14：00～17：00（4.5月は10：00～17：00）
土・日曜日 10：00～16：00
- ・環境整備
ゴールドビーチ外壁修繕/サミー号撤去/自転車発電機小屋
- ・地域住民との連携
長浜海岸清掃（7月）/夏祭り（8月）/地域ゴミ拾い（毎月・黄金浜自治会主催）
/黄金浜地区側溝掃除（9月）/黄金浜防災訓練（11月）
/教育機関との情報交換・共有（各校年3回程度）

●プレーパークわたのは（平日）

【目 標】

未就学児親子を中心に、地域コミュニティづくりを継続しておこない、多世代が助け合える関係を構築する。また、不登校の子どもや、地域高齢者も含めた交流の場をつくる。

2022年度以降、平日の開催を地域住民に移行していくための体制づくりをおこなう。

- ・開催数 76回（4、5月週3回、6～3月週1回、その他 月1回会議）
- ・来所人数 子ども延760名 大人延532名 合計 延1292人 平均7組/回

【事業内容】

- ・開催日時：火・木・金曜日 10：00～14：00（木・金曜開催は5月末日で終了）
他、地域住民が独自で開催する日
- ・月に一回、開催を移行するための話し合いを実施

●鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【目 標】

プレーパークを継続して開催することで、創造力や探求心が育つ環境をつくる。また、「遊び」という間口から、多様な大人と関わる機会をつくり、スタッフは子どもと信頼関係を築き、子どもが安心して過ごせる第三の居場所を確立する。

- ・開催数 51回（うち夏季・冬季休み各一回 一日遊び開催：10：30～16：00）
- ・来所人数 子ども延1,300名、大人延300名 合計延1,600名
- ・開催時の地域住民の見守り 5名

【事業内容】

- ・開催日時：毎週水曜日 15：00～17：00（冬季は16:30迄）
- ・環境整備

倉庫内の棚制作/開催曜日、時間の案内をわかり易く掲示（倉庫の外壁にペイント又は看板設置）

- ・ 広報

来所する子どもと地域住民に会報誌を配布。

- ・ 地域連携

鹿妻小学校と子どもに関する情報交換・共有を行う。 4 回程度

鹿妻小学校「農村クラブ」サポート 年 10 回

●プレーパーク・プレイワーク普及事業

【目的】

地域の子どもの孤立をなくし、安心して暮らせる社会になるため、市民にプレーパーク及びプレイワークを普及する。

【目標】

プレイワークを理解する大人を増やし、地域住民と協働で子どもを見守る体制づくりと普及活動を行うことで、子どもの自由な遊びの機会を増やす。

- ・ 新規プレーパークサポート 3か所 回数：延べ5回、振り返り会5回 計10回

利用者人数 子ども延150名 大人延100名 計250名

- ・ プレーパークを利用する子どもの意識調査：渡中学区3校全生徒（約1000名）
- ・ プレイワーク講座：参加人数10名
- ・ 定期的（月1回以上）に来所する地域の方、ボランティア：3人

【事業内容】

- ・ 新規プレーパークサポート

実施月は奇数月（7.9.11.1.3月） 準備&振り返り会（※）は偶数月（6.8.10.12.2月）

※実施の振り返りと次回の開催に向けた話し合いをおこなう

開催場所：蛇田、河北、湊地区（予定）。市内の神社や復興住宅の公園など

- ・ プレーパークを利用する子どもの意識調査

実施日：2021年12月

内容：プレーパークを利用することで子どもに与える効果（自己肯定感など）/集計

- ・ プレイワーク講座

カリキュラム開発：4月～10月

実施：11月 場所：未定

内容：子どもにとって「遊び」とは/社会環境と遊びの現状/アソビゴコロなど

- ・ ボランティア受け入れ体制づくり

◆フリースクール事業

●フリースクール“ぼはっく”

【目的】

安心して過ごせる居場所や、「やってみたい」を実現できる環境をつくり、学校に行けない子どもが、社会の中で自立するためのサポートをおこなう

【目 標】

2024年度までに石巻市の不登校生徒全員に居場所があることを目標に、本年は東部地区の不登校生徒全員に居場所がある状態にする。

- ・開催日数 103回
- ・登録者数 22名(+新規6名)
- ・利用人数 平均8名 延824名
- ・高校進学、社会への自立 3名
- ・出席扱い学校数 合計10校 (+新規6校)
- ・石巻市のSSWや保健師、保護課などの教育機関・行政機関と連携体制の構築
- ・親の会開催 2回
- ・面談/相談受け入れ 保護者：延べ120件 子ども：16名

【事業内容】

- ・石巻市東部地区の不登校の現状把握
小中学校（湊中、万石浦小、万石浦中）へ訪問し、活動説明
- ・連携体制づくり
各機関と連携体制構築のために、事業説明と担当者との関係づくり
子どもの個別活動記録を元に、学校との情報共有と情報交換
他団体（TEDIC）と利用児の情報共有
新規登録児の在籍校へ訪問
- ・環境整備
居室の整備、子ども会議、備品・消耗品の購入など
- ・保護者サポート
親の会 利用児の保護者と企画
対象：不登校の保護者 広報：行政機関と連携。メディア活用
- ・面談/相談 月1回～2ヶ月に1回

◆地域・民間団体との連携事業

●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

【目 的】

石巻全域の子どもが、自らの足で出向ける場所にプレーパーク（居場所）があり、地域で子どもを見守る体制を構築することで、子どもの孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくり

【目 標】

7年後までに、石巻市内13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目指し、構成団体や地域住民と連携して、子どもの居場所を増やす。そのために、子どもや保護者の声を行政に届ける

【事業内容】

- ・役員会議 月1回程度（組織体制づくり/事業計画）
- ・地域住民の意識調査（焚き火の会4回、既存の子どもの居場所3か所）、報告書作成

- ・座談会「地域でのあそび場づくりがもたらす子どもへの効果（仮称）」
- ・総会の実施

●渡中学区WW I (わっしょい渡波委員会)

【目的】

渡波中学校区の子どもが地域で見守られ、安心して暮らせる地域をつくる

【目標】

渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは地域で見守り育てる」を合言葉に、渡波地区の任意団体として活動し、地域での認知度を高める。

- ・地域住民メンバー25名 (+6名)

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度
- ・スプラトゥーン大会(8月)：対象 渡波中学校、渡波小学校、鹿妻小学校児童生徒、地域住民
- ・地域活動への協力
 - 渡波中学校区 地区防災新体制づくりとサポート(8月～11月)
 - 渡波中学校生徒企画 廃品回収事業へのサポート(6月・10月)
 - 黄金浜夏祭りサポート など
- ・子どもとの関わり方研修「リスクとハザード、アソビゴコロ」
(講師：須永カ 一般社団法人プレーワーカーズ)
- ・リーフレット作成 300部
- ・活動用ユニホーム制作 40枚

●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目的】

教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる

【目標】

不登校支援団体や議員を含む市民が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう
2022年度フリースクール補助金化を目指す

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度(総会、事業計画、資金調達)
- ・研修会(教育機会確保法、先進事例検討会、不登校理解を深める講座実施など)
- ・調査活動(当事者の意識アンケート/昨年からの継続)
- ・交流イベント(県内フリースクールや居場所に在籍する子ども同士の交流)
- ・情報の共有と発信(居場所マップ配布、フェイスブック等)
- ・意見交換会(対象：行政、県議会議員)

●石巻での不登校ネットワークづくり

【目的】

石巻市内の不登校児童生徒の孤立をなくし、一人ひとりが心と居場所の安定を図ることで自己の未来を切り開く

【目標】

石巻市内の不登校課題に関心をもつ市民でチームを立ち上げ、不登校児童生徒の現状を把握し、行政と協働でその改善策を構築する。

- ・チームづくり：子ども支援団体3団体
- ・当事者の声を行政に届ける
- ・石巻市長と教育長に要望書提出

【事業内容】

- ・定例会議（事業計画立案）と情報交換会（月1回程度）
- ・教育機会確保法勉強会（5月）講師：中村みちよ
- ・市議会議員と県議会議員当事者座談会（6月）
- ・官民連携で不登校対策を実施する先進事例視察研修

第1回「官民ネットワーク確立事例」（9月）訪問先：With優、クローバーの会（山形県）

第2回「公設民営のフリースクール」（1月）訪問先：ひよこの家、高根沢町教育委員会（栃木）

②子育てサポート事業

未就学児あそび場“のびちび”は、プレーパークわたのはの事業として統合。

事業目標・内容は「プレーパークわたのは（平日）」参照

③自然体験プログラム事業

活動予定なし

④社会体験プログラムに関する事業

活動予定なし

⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

●啓発事業（講座/研修）

講師派遣：楽々コミュニケーション講座(教員、子育て支援団体向け)/外遊びの大切さ講座 /愛着形成がもたらす親子関係/プレーパークのつくり方/不登校を理解するための講座 /活動報告会（石巻）2回 など

●情報発信事業

会報誌「だん子むし」600部発行/こどばにー映像「みんな～おいで～(地域向け)」「こどもみらいず(行政・寄付者向け)」拡散 / プレーパークわたのはパンフレット配布 /

SNS配信（Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ1回/週）

●人材育成事業

- ・事業スキル向上のためのスタッフ研修
プレーパーク・居場所研修：ひとまちなっと：2泊3日 愛知県 2名(佐藤、田中)
カウンセリング（年4回1名）
子育て支援員育成講座（スタッフ4名）
- ・組織運営のためのスタッフ研修
認定NPO法人化事務局フローづくり
資金調達のための体制づくりとスキル向上 など
- ・外部人材育成
ボランティア（市内高校生、市内在住の大学生、県外）/インターン受け入れ
視察受け入れ など

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業

●主たる活動地域内

渡波小学校評議委員会 3回 /渡波中学校区協働教育協議委員会 3回
/石巻市社会福祉推進委員会 3回

●石巻市内

石巻市都市計画委員 3回 /NPO法人こどもにやさしいまちづくり理事 3回程度
/らいつコンソーシアム協議委員 3回 /NPO法人にじいろクレヨン理事 年4回
/市民公益活動いしのみき連絡会議理事会 10回程度

●組織基盤強化

資金調達プロジェクト（寄付、賛助会員の呼びかけと管理）

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者名	受益者	事業費(円)	
① すべての子どものための居場所(あそび場)に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー ・プレーパーク・プレイワーク普及	火・金・土・日 水 随時	渡波 鹿妻 市内	4名 1名 2名	幼児 ～高校生 延6,034人 地域住民 延1,965人 (380回)	15,661,930	
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・面談/相談	火・木曜	鹿妻 随時	3名 1名			
	地域連携・ネットワーク事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・渡中学区WWI ・黄金浜げんき会 ・石巻の不登校ネットワーク	15回/年 15回/年 15回/年 7回/年 10回/年	宮城県内	1名 1名 2名 1名 1名			
	② 子育てサポート事業	プレーパークわたのはと統合		火	渡波		1名
③ 自然体験プログラム事業	※活動予定なし	-		-	-	-	-
④ 社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-		-	-	-	-
⑤ 前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・講師派遣 ・活動報告会		石巻市内 石巻市内	2名 全スタッフ	-	2,673,940	
	情報発信事業 ・会報誌「だんごむし」 ・こどばにー映像2本拡散 ・ホームページ ・ブログ ・Facebook / Instagram ・ツイッター ・プレわたパンフレット配布	年4回 随時 月1回更新 月4本 随時 随時 年1回	-	全スタッフ	-		
	人材育成事業 ・プレーパーク/居場所研修 ・カウンセリング ・子育て支援者講座	未定 年4回 9月	愛知県 オンライン 石巻市内	全スタッフ 1名 4名	-		

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員	随時	石巻市内	1名	-	1,044,650
	・石巻市内における委員や役員	随時	石巻市内	1名		

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年回3 他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り。

代表：田中雅子

常勤スタッフ：4名

非常勤スタッフ：2名

アルバイト：1名

(3) 会員

【目標】

・正会員 15名(+3名)

・賛助会 120名(+51名)

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ/短期含む）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

石巻市福祉部子育て支援課、石巻市都市計画課、宮城県東部児童相談所、虐待防止センター、石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、公益社団法人 3.11 みらいサポート、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、NPO 法人にじいろクレヨン、NPO 法人こどもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ 多様な学びを共につくる・みやぎネットワークなど連携団体は多数

以上